様式第１号

令和５年６月１６日

岐阜県知事　　古　田　　肇　殿

〔設置者の名称〕　　一般社団法人大垣市医師会

〔代表者の役職〕　　会　長　　沼　口　　諭

大学等における修学の支援に関する法律第７条第１項の確認に係る申請書

○申請者に関する情報

大学等の名称	大垣市医師会看護専門学校
大学等の種類 （いずれかに○を付すこと）	（大学・短期大学・高等専門学校・専門学校）
大学等の所在地	大垣市緑園 129 番地
学長又は校長の氏名	校長　竹中　清之
設置者の名称	一般社団法人　大垣市医師会
設置者の主たる事務所の所在地	大垣市新田町１丁目８番地
設置者の代表者の氏名	会長　沼口　　諭
申請書を公表する予定のホームページアドレス	https://www.ogaki.gifu.med.or.jp/kansen/entrance information/scholarship/

※ 以下のいずれかの□にレ点（☑）を付けて下さい。

□　確認申請
　大学等における修学の支援に関する法律施行規則第５条第１項に基づき確認申請書を提出します。

☑　更新確認申請書の提出
　大学等における修学の支援に関する法律施行規則第５条第３項に基づき更新確認申請書を提出します。

※ 以下の事項を必ず確認の上、すべての□にレ点（☑）を付けて下さい。

☑　この申請書（添付書類を含む。）の記載内容は、事実に相違ありません。

☑　確認を受けた大学等は、大学等における修学の支援に関する法律（以下「大学等修学支援法」という。）に基づき、基準を満たす学生等を減免対象者として認定し、その授業料及び入学金を減免する義務があることを承知しています。

☑　大学等が確認を取り消されたり、確認を辞退した場合も、減免対象者が卒業するまでの間、その授業料等を減免する義務があることを承知しています。

☑　この申請書に虚偽の記載をするなど、不正な行為をした場合には、確認を取

り消されたり、交付された減免費用の返還を命じられる場合があるとともに、減免対象者が卒業するまでの間、自らが費用を負担して、その授業料等を減免する義務があることを承知しています。

☑　申請する大学等及びその設置者は、大学等修学支援法第７条第２項第３号及び第４号に該当します。

○各様式の担当者名と連絡先一覧

様式番号	所属部署・担当者名	電話番号	電子メールアドレス
第１号	大垣市医師会看護専門学校 事務　内藤ひろ子	0584-75-3081	ogaki-kanjim@ogaki.gifu.med.or.jp
第２号の１	大垣市医師会看護専門学校 事務　内藤ひろ子	0584-75-3081	ogaki-kanjim@ogaki.gifu.med.or.jp
第２号の２	大垣市医師会看護専門学校 事務　内藤ひろ子	0584-75-3081	ogaki-kanjim@ogaki.gifu.med.or.jp
第２号の３	大垣市医師会看護専門学校 事務　内藤ひろ子	0584-75-3081	ogaki-kanjim@ogaki.gifu.med.or.jp
第２号の４	大垣市医師会看護専門学校 事務　内藤ひろ子	0584-75-3081	ogaki-kanjim@ogaki.gifu.med.or.jp

○添付書類

※ 以下の事項を必ず確認し、必要な書類の□にレ点（☑）を付けた上で、これらの書類を添付してください。（設置者の法人類型ごとに添付する資料が異なることに注意してください。）

「⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置」関係

☑　実務経験のある教員等による授業科目の一覧表《省令で定める単位数等の基準数相当分》

☑　実務経験のある教員等による授業科目の授業計画書（シラバス）《省令で定める単位数等の基準数相当分》

「⑵-①学外者である理事の複数配置」関係

□　《一部の設置者のみ》大学等の設置者の理事（役員）名簿

「⑵-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置」関係

☑　《一部の設置者のみ》大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織に関する規程とその構成員の名簿

「⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表」関係

☑　客観的な指標に基づく成績の分布状況を示す資料

☑　実務経験のある教員等による授業科目の授業計画書（シラバス）《省令で定める単位数等の基準数相当分》【再掲】

その他

☑　《私立学校のみ》経営要件を満たすことを示す資料

☑　確認申請を行う年度において設置している学部等の一覧

（添付書類）経営要件を満たすことを示す資料

学校名	大垣医師会看護専門学校
設置者名	一般社団法人　大垣市医師会

Ⅰ　直前３年度の決算の事業活動収支計算書における「経常収支差額」の状況

	経常収入(A)	経常支出(B)	差額(A)-(B)
申請前年度の決算	293,758,828 円	264,387,916 円	29,370,912 円
申請２年度前の決算	295,266,758 円	265,761,904 円	29,504,854 円
申請３年度前の決算	291,498,910 円	264,508,025 円	26,990,885 円

Ⅱ　直前の決算の貸借対照表における「運用資産－外部負債」の状況

	運用資産(C)	外部負債(D)	差額(C)-(D)
申請前年度の決算	864,345,322 円	12,881,223 円	851,464,099 円

Ⅲ　申請校の直近３年度の収容定員充足率の状況

	収容定員(E)	在学生等の数(F)	収容定員充足率 (F)/(E)
今年度（申請年度）	120　人	104　人	86　%
前年度	120　人	96　人	80　%
前々年度	120　人	94　人	78　%

（Ⅱの補足資料）「運用資産」又は「外部負債」として計上した勘定科目一覧

○「運用資産」に計上した勘定科目

勘定科目の名称	資産の内容	申請前年度の決算における金額
現金預金	現金預金	291,099,193 円
特定資産	卒業生表彰引当資産	7,280 円
特定資産	退職給付引当資産	43,184,900 円
特定資産	役員退任慰労引当資産	6,900,000 円
特定資産	施設整備引当資産	205,702,564 円
特定資産	会館・校舎建設引当資産	317,451,385 円

○「外部負債」に計上した勘定科目

勘定科目の名称	負債の内容	申請前年度の決算における金額
流動負債	未払金	11,728,723 円
流動負債	未払法人税	72,000 円
流動負債	未払消費税	1,080,500 円

備考 この用紙の大きさは，日本産業規格Ａ４とする。